



茨木市では、2050年ゼロカーボンシティ実現に向け、市民・事業者の脱炭素の取組を後押しする「脱炭素プラットフォーム」を開催しています。環境にも暮らしにもメリットのある脱炭素、いま何ができるか一緒に考えていきましょう！

第3回ワークショップを開催しました

令和8(2026)年1月23日に第3回の脱炭素プラットフォームを開催しました。前半は、近畿経済産業局および地域事業者より省エネ関連施策や取組事例をご紹介いただきました。その後、前回のワークショップから年度内に実施する具体的な取組案についての意見交換を行いました。後半は、参加者が排出量削減を進めたい「チャレンジャー」、脱炭素サービスを提供する「サポーター」に分かれ、今後の取組や連携の可能性、参加してほしい事業者や解決したい課題について意見交換を行いました。

様々な業種から17事業者
19名が参加し、活発な議論が行われました。



今年度の参加事業者（公表可・50音順）

学校法人藍野大学、尼崎信用金庫、イオンモール(株)、茨木商工会議所、浦川トランス工業(株)、(株)大口油脂、大阪よどがわ市民生活協同組合、関西電力(株)、北おおさか信用金庫、京都信用金庫、グリーンライフ(株)、ゴウダ(株)、(株)ジーンデザイン、ダイキンHVACソリューション近畿(株)、大成化工(株)、東京海上日動火災保険(株)、阪急電鉄(株)、阪急バス(株) ほか

今後参加してほしい事業者（抜粋）

- 省エネに興味がある事業者
- 補助金申請支援を得意としている事業者
- 脱炭素経営に取り組む企業・団体
- 教育機関（大学）
- リサイクル・資源循環事業者
- 小売店・食品関連事業者
- EV・充電インフラ関連事業者

解決したい課題（抜粋）

- 省エネ化（空調、照明など）
- 脱炭素＝コスト増というイメージ
- サステナビリティの理解促進
- ごみの分別・3R、食品ロス削減
- 従業員の理解と実践力向上
- 太陽光発電の設置・費用課題
- EV導入や充電環境の整備

感想（抜粋）

- 今後、チャレンジャー側として参加する企業・団体が増えれば良いと感じた。
- 参加するたびに参加者の方々のカーボンニュートラルに関する関心が高まっていることに驚いております。
- 脱炭素に積極的にチャレンジしている事業者さんとお話できて有意義な時間になった。